

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：2024年 2月 13日

事業所名 児童発達支援事業所 奇跡の道しるべ 保護者等数(児童数) 26 回収数17 割合= 65 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100.0%				園庭が広く活動しやすいと感じている	活動しやすいように十分なスペースを確保しています
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	83.0%	5.0%		12.0%	STさんを入れてほしいと感じている	現在募集中です
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	94.0%			6.0%		障がいの特性を考慮して設計を行いました。バリアフリー化は必要に応じて随時設置していきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100.0%				いつ行ってもきれいにされていると思います	今後も子どもたちが心地よく過ごせるように努めていきます
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	88.0%	6.0%		6.0%		保護者との面談を増やし保護者の意見を反映させた支援計画書を作成しています
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	88.0%	6.0%		6.0%		児童発達支援ガイドラインをもとに個別支援計画を作成しています。今後もより良い支援計画になるように改善していきます
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	88.0%	6.0%		6.0%		保護者との面談を増やし保護者の意見を反映させた支援計画書を作成し職員間で共有し支援を行っています
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	94.0%			6.0%	季節に合わせた活動や、活動の種類も豊富で子どもも楽しそうにしています	活動内容が偏らないように職員全員でプログラムを考え支援をしています
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	41.0%	6.0%	6.0%	47.0%	コロナ感染症の影響で難しいと感じる	感染症対応をしっかりと交流活動も増やしていこうとしています
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0%					契約時に説明し事業所内にも掲示しています
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100.0%					支援目標、支援内容、ねらい等についてはきちんと時間ととって説明しています
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	44.0%	12.0%		44.0%		集団での保護者支援に抵抗があるとの声があったため個別面談を実施しています 今後も継続していきます
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	94.0%			6.0%	こちらの疑問等に対して丁寧にお答えいただいています	直接お会い出来ないご家庭には電話での支援を行っています 今後は面談の機会を増やし直接お伝えできるようにしていきます
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94.0%			6.0%	モニタリングの場で行われている	保護者面談を増やし直接会ってお話しをする機会を増やしています 今後も継続していきます
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	29.0%	6.0%	12.0%	53.0%	保護者会の内容はない	保護者会を開催できるように事業所内で検討していきます	

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	94.0%			6.0%	ご相談させていただくことも多いのでいつも助かっています	児童発達支援管理責任者が窓口となり迅速に対応しています。その後職員間で情報共有しています
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	88.0%			12.0%	連絡ノートやLINEで連絡が取りやすいので助かっています	支援のことは電話でお伝えし連絡事項などは連絡帳やLINEを使って伝達しています
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	82.0%			18.0%	インスタで活動の様子を写真で見ることができて、子どもの様子を知る事ができありがたいです	ホームページも見やすいようにリニューアルしました。自己評価結果も公表しています
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100.0%					契約時に個人情報の取り扱いや写真掲載についての同意書をいただいています。職員にも個人情報に関する教育をしています
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	71.0%			29.0%		マニュアルは都度改訂し掲示しています。周知、説明は面談時に行うようになっています。訓練は年2回実施しています
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	59.0%			41.0%		避難訓練は年2回予定しており、事前に避難訓練計画書を作成し職員全員でマニュアルの確認を行います
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	94.0%	6.0%			嫌がらずに通所している	今後も子ども達が楽しく安心して過ごせる環境を作っていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	94.0%	6.0%				保護者の方々が安心して預けられる安全な施設作りをしています

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。